

平成29年度 青森市自動車運送事業会計 当初予算 総括表(税込み) (H28当初-H29当初)

(単位:千円)

		収 益				
科 目		H28当初予算	H29当初予算	増 減	備 考	
収益	営業収益	乗 合	1,701,946	1,649,806	△ 52,140	H28決見*中位人口減少率98.89%
		(生活路線)	394,341	398,999	4,658	
		計	2,096,287	2,048,805	△ 47,482	
	営業外収益	広 告 料	24,695	50,000	25,305	
		雑 収 益	329	274	△ 55	定期券・バスカード払戻手数料
		計	25,024	50,274	25,250	
	小 計		2,121,311	2,099,079	△ 22,232	
	的 収 支	他 会 計 補 助 金	232,280	128,762	△ 103,518	退職者の減(△7人)+バスまち空間向上事業(25,000)
		補 助 金	2,600	2,200	△ 400	運輸事業振興助成金(県補助金)
		そ の 他	134,170	129,745	△ 4,425	長期前受金戻入減
小 計		369,050	260,707	△ 108,343		
経 常 収 益 計		2,490,361	2,359,786	△ 130,575		
経 常 収 支		△ 23,989	△ 125,366	△ 101,377		
特別利益	固 定 資 産 売 却 益	0	0	0		
	そ の 他	82,953	122,574	39,621	長期前受金戻入(他会計補助金(企業債分))	
	小 計	82,953	122,574	39,621		
事 業 収 益 合 計		2,573,314	2,482,360	△ 90,954	経常収益+特別収益	
純 損 益		58,964	△ 2,792	△ 61,756	事業収益合計-事業費用合計	
累 積 欠 損 金		2,229,340	2,179,537	△ 49,802	28年決算見込+29年純損益	

(単位:千円)

		費 用				
科 目		H28当初予算	H29当初予算	増 減	備 考	
営業費用	職員給与費	基 本 給	553,879	514,972	△ 38,907	職員数の減△11(正:△10、再△1)
		退 職 金	126,516	82,833	△ 43,683	退職給付引当金
		そ の 他	838,418	875,853	37,435	嘱託職員数の増18(嘱20、臨△2)
		計	1,518,813	1,473,658	△ 45,155	△12.742千円(退職給付引当金除く)給料1~10%減額
	経 費	動 力・燃 料・油 脂	179,246	179,054	△ 192	
		部 品・材 料・外 注	114,238	118,085	3,847	板金修繕費の増
		そ の 他	381,084	378,807	△ 2,277	委託タイヤの減△4 バス停170+待合所修繕12(25,000)
		計	674,568	675,946	1,378	
	減 価 償 却 費		273,285	275,251	1,966	⑳車両購入分増(大型10台)
	小 計		2,466,666	2,424,855	△ 41,811	
営業外費用	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	1,840	1,530	△ 310		
	繰 延 勘 定 償 却	0	0	0		
	そ の 他	45,844	58,767	12,923	消費税納付見込額等	
	小 計	47,684	60,297	12,613		
経 常 費 用 計		2,514,350	2,485,152	△ 29,198		
特別損失	固 定 資 産 売 却 損	0	0	0		
	過 年 度 損 益 修 正 損	0	0	0		
	そ の 他	0	0	0		
	小 計	0	0	0		
事 業 費 用 合 計		2,514,350	2,485,152	△ 29,198		

資本的収支	企 業 債	290,500	324,300	33,800	⑳大型10両→㉑大型10両+運賃箱10両
	国 (県) 補 助 金	0	0	0	
	他 会 計 補 助 金	235,895	319,173	83,278	企業債元金分+バスまち空間向上事業(25,000)
	固 定 資 産 売 却 代 金	1,411	0	△ 1,411	
	投 資	383	479	96	リサイクル料(廃車バス分)
	負 担 金	0	0	0	
	他 会 計 長 期 借 入 金	0	0	0	
	小 計	528,189	643,952	115,763	
	損 益 勘 定 内 部 留 保 資 金	40,971	92,359	51,388	
	不 足 額	△ 34,049	△ 83,110	△ 49,061	
合 計		535,111	653,201	118,090	
資 金 不 足 額		82,730	△ 1	△ 82,731	資金不足額(28決見)+純損益+不足額

支 出	建 設 改 良 費	298,716	358,528	59,812	バス+運賃箱(10両)+待合所新設10・改築11(25,000)	
	企 業 債 償 還 金	235,895	294,173	58,278	H23年度分終了、H27・28年度分増	
	退 職 給 与 費	0	0	0		
	投 資	500	500	0	車両購入分のリサイクル料	
	他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0		
	合 計		535,111	653,201	118,090	

資金不足比率→ 3.8% 0.0% *千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

平成29年度自動車運送事業会計当初予算概要

(平成28年度－平成29年度当初予算比較)

平成29年 3月
交通部管理課

1. 業務の予定量

区分	平成28年度	平成29年度	当初増減	増減率	備考	
ダイヤ	141	141	0	0.00 %	委託ダイヤ△4 (15ダイヤ→11ダイヤ) 直営ダイヤ 4 (126ダイヤ→130ダイヤ)	
運行便数	875 便	870 便	△ 5 便	△ 0.57 %		
路線数	35 路線	36 路線	1 路線	2.86 %	商業高校線の増	
走行キロ	実車	3,386,234 km	3,370,456 km	△ 15,779 km	△ 0.47 %	
	回送	510,633 km	545,640 km	35,007 km	6.86 %	
	計	3,896,867 km	3,916,096 km	19,229 km	0.49 %	
輸送人員	7,445,938 人	7,310,892 人	△ 135,046 人	△ 1.81 %		
乗務員数	167 人	172 人	5 人	2.99 %	正職員△10人、再任用△3人、嘱託18人	
車両数	141 両	141 両	0 両	0.00 %	H29増減なし 新車購入 10両 廃車 10両	

◇事業規模は、平成29年4月のダイヤ改正に伴い、1路線（商業高校線）の増、5便の減となるが、ダイヤ数は同数。
◇乗務員は、退職者不補充による正職員の減少分を嘱託乗務員の採用で補う必要があることに加え、委託ダイヤ数の減（△4ダイヤ）に伴う直営ダイヤの増加により、総数では5人増加となる。効率的な運行により、引き続き人件費の抑制を図る。

2. 収支の状況

(1) 収益的収支 (3条)

区分	平成28年度	平成29年度	当初予算増減	増減率	備考
収入	2,573,314 千円	2,482,360 千円	△ 90,954 千円	△ 3.53 %	運送収益の減 (△47,482千円) 他会計補助金の減 (△103,518千円) 退職者△7名 (10→3名) による減
うち乗車料収入	1,701,946 千円	1,649,806 千円	△ 52,140 千円	△ 3.06 %	福祉負担金の減 (高齢者分△48,280千円)
うち生活路線維持負担金	394,341 千円	398,999 千円	4,658 千円	1.18 %	資金不足解消
支出	2,514,350 千円	2,485,152 千円	△ 29,198 千円	△ 1.16 %	職員給与費の減 (△45,155千円) 管理の受委託の減 (△24,354千円) (新規) バスマち空間向上 25,000千円 (標識費 19,140千円、修繕費 5,860千円)
当年度純損益	58,964 千円	△ 2,792 千円	△ 61,756 千円	△ 104.74 %	

(収入) ◇運送収益のうち乗車料収入は、福祉負担金の減などにより減少 (1,701,946千円→1,649,806千円 △52,140千円) し、生活路線維持負担金は、資金不足比率 (3.8%→0% : 394,341千円→398,999千円 4,658千円) の調整により増加。
◇他会計補助金は、主に退職者の減 (10名→3名 △7名) に連動し減少。 (232,280千円→128,762千円 △103,518千円)

(支出) ◇職員給与費は、職員総数は増加 (7名) するものの、正職員が減少 (△10名) することから、減少。
(1,518,813千円→1,473,658千円 △45,155千円)
◇経費の主な増減としては、委託料は、委託ダイヤ数の減 (△4ダイヤ) に伴い減少 (△27,148千円) するが、新規事業 (バスマち空間向上事業 : 25,000千円) の実施などにより、前年度並み。 (674,568千円→675,946千円 1,378千円)

(2) 資本的収支 (4条)

区分	平成28年度	平成29年度	当初予算増減	増減率	備考
収入	528,189 千円	643,952 千円	115,763 千円	21.92 %	企業債、他会計補助金の増 (支出連動)
支出	535,111 千円	653,201 千円	118,090 千円	22.07 %	建設改良費、企業債償還金の増
収支差引	△ 6,922 千円	△ 9,249 千円	△ 2,327 千円	△ 33.62 %	

(収入) ◇企業債及び他会計補助金は、主に支出に連動した財源の変動分。

(支出) ◇建設改良費は、車両更新 (大型10両) に併せて運賃箱 (10両) を更新することに加え、新規事業 (バスマち空間向上事業・待合所整備 : 25,000千円) の実施により、事業費は増加。 (298,716千円→358,528千円 59,812千円)
◇企業債償還金は、平成27・28年度のバス購入に係る企業債元金償還開始に伴い増加。 (235,895千円→294,173千円 58,278千円)

3. 資金不足比率等について

(1) 資金不足比率

(単位 : %)

年度	平成28年度	平成29年度
予算 (税込み)	3.8	0.0

(2) 一般会計繰入金

(単位 : 千円)

年度	平成28年度	平成29年度
3条予算	626,621	527,761
4条予算	235,895	319,173
合計	862,516	846,934

(3) 推移

(単位 : 千円)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収支状況	△ 118,558	△ 158,872	△ 239,893	△ 197,402	△ 62,229	132,658	△ 23,989	△ 125,366
長期借入償還残高	1,181,800	1,117,600	1,053,400	989,200	925,000	925,000	925,000	925,000
資金不足額	391,092	354,381	337,875	278,237	256,114	161,149	82,730	0

※千円未満切上げ、平成27年度までは決算額 (税抜き) で、平成28年度以降は当初予算額 (税込み)

平成28年度自動車運送事業会計当初予算概要

(平成27年度－平成28年度当初予算比較)

平成28年2月
交通部管理課

1. 業務の予定量

区分	平成27年度	平成28年度	当初増減	増減率	備考
ダイヤ	141	141	0	0.00%	H28年度はダイヤ改正なし 委託ダイヤ 15ダイヤ 直営ダイヤ 126ダイヤ
運行便数	875 便	875 便	0 便	0.00%	
路線数	35 路線	35 路線	0 路線	0.00%	
走行キロ	実車	3,387,561 km	3,386,234 km	△ 1,327 km	△ 0.04%
	回送	524,455 km	510,633 km	△ 13,822 km	△ 2.64%
	計	3,912,016 km	3,896,867 km	△ 15,149 km	△ 0.39%
輸送人員	7,528,655 人	7,445,938 人	△ 82,717 人	△ 1.10%	
乗務員数	169 人	167 人	△ 2 人	△ 1.18%	正職員△8人、再任用3人、嘱託3人
車両数	139 両	141 両	2 両	1.44%	H28増減(2両)の内訳 新車購入 10両 廃車 8両

◇事業規模は、平成27年度と同規模
◇乗務員は、嘱託職員を新たに採用するものの、退職者不補充により全体では2人減少。効率的な運行により、引き続き人件費の抑制を図る。

2. 収支の状況

(1) 収益的収支(3条)

区分	平成27年度	平成28年度	当初予算増減	増減率	備考
収入	2,694,396 千円	2,573,314 千円	△ 121,082 千円	△ 4.49%	運送収益の減(△45,697千円) 他会計補助金の減(△51,344千円) 退職者減(12→10名)による減
うち乗車料収入	1,720,848 千円	1,701,946 千円	△ 18,902 千円	△ 1.10%	人口減少、福祉負担金減少による減収
うち生活路線維持負担金	421,136 千円	394,341 千円	△ 26,795 千円	△ 6.36%	資金不足比率(3.8%)調整による減
支出	2,559,134 千円	2,514,350 千円	△ 44,784 千円	△ 1.75%	経費(軽油費、板金修繕費)の減ほか
当年度純損益	135,262 千円	58,964 千円	△ 76,298 千円	△ 56.41%	

(収入) ◇運送収益のうち乗車料収入は、人口減少、福祉負担金の減などにより減少(1,720,848千円→1,701,946千円 △18,902千円)し、生活路線維持負担金も減少(資金不足比率3.8%への調整:421,136千円→394,341千円 △26,795千円)
◇他会計補助金は、退職者の減(12名→10名 △2名)により減少(283,624千円→232,280千円 △51,344千円)

(支出) ◇職員給与費は、職員数は減少(△4名)するものの、退職給付引当金の増により増加(1,508,055千円→1,518,813千円 10,758千円)
◇経費は、主に軽油単価の値下がりに伴う軽油費の減(△59,920千円)、板金修繕費の減(△23,463)により減少(763,630千円→674,568千円 △89,062千円)
◇減価償却費は、主に平成27年度の車両購入(中型バス15両)に伴い増加(239,950千円→273,285千円 33,335千円)

(2) 資本的収支(4条)

区分	平成27年度	平成28年度	当初予算増減	増減率	備考
収入	595,169 千円	528,189 千円	△ 66,980 千円	△ 11.25%	企業債、他会計補助金の減(支出連動)
支出	601,345 千円	535,111 千円	△ 66,234 千円	△ 11.01%	建設改良費、企業債償還金の減
収支差引	△ 6,176 千円	△ 6,922 千円	△ 746 千円	12.08%	

(収入) ◇企業債及び他会計補助金は、主に支出に連動した財源の変動分

(支出) ◇建設改良費は、バリアフリー化へ対応するためのノンステップバスの購入費用で、中型車両から大型車両へ変更する。ただし、購入車両数が5両減(15両→10両)となったことにより事業費は縮小(340,857千円→298,716千円 △42,141千円)
◇企業債償還金は、平成22年度のバス購入に係る企業債元金償還終了に伴い減少(259,877千円→235,895千円 △23,982千円)

3. 資金不足比率等について

(1) 資金不足比率

(単位: %)

年度	平成27年度	平成28年度
予算(税込み)	8.2	3.8

(2) 一般会計繰入金

(単位: 千円)

年度	平成27年度	平成28年度
3条予算	704,760	626,621
4条予算	259,877	235,895
合計	964,637	862,516

(3) 推移

(単位: 千円)

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経常収支状況	△ 81,805	△ 118,558	△ 158,872	△ 239,893	△ 197,402	13,039	42,187	△ 23,989
長期借入償還残高	1,246,000	1,181,800	1,117,600	1,053,400	989,200	925,000	925,000	925,000
資金不足額	388,776	391,092	354,381	337,875	278,237	275,501	179,866	79,970

※千円未満切上げ、平成26年度までは決算額(税抜き)で、平成27年度以降は当初予算額(税込み)

バスまち空間向上事業



- ① バスまち利用者を風や雨雪等から守り、安全で快適な **バス待合所の整備**を進めます。
- ② ご高齢の方や観光客にも配慮した、**大きく見やすい文字サイズ**や**多言語表記のバス停**の設置を進めます。
- ③ バス待合所やバス停標識に**広告スペース**を設け、交通事業の経営改善に努めます。

H29～32年度 **2億円**
(H29予算額 **5,000万円**)

バスまち空間向上事業

1 バスまち利用者の風や雨雪対策

- ・ 郊外部バス待合所の新設(年10箇所程度)
- ・ 老朽化バス待合所の快適化(改築・修繕)(年20箇所程度)
- ・ 屋根のみのバス待合所への風対策(防風パネルの設置)(年5箇所程度)

2 情報掲示環境整備

- ・ ご高齢の方や観光客にも配慮した、大きく見やすい文字表記のバス停標識の設置(年150箇所程度)(うち多言語表記のバス停標識・年20箇所程度)

3 広告スペースの確保による経営改善

- ・ 交通事業の収益向上の為、バスまち空間(バス待合所、バス停標識)に企業広告スペースを確保